

青井 ゆかりさん [Irvine 在住]

ここまでこれた
スタッフや友達にめぐまれて



アーバインでの暮らしに満足している青井さん

系企業でセクレタリーとして働いていた経験もあるからです。当時の給料はしていたし、アメリカから会社が撤退したらもう即失業じゃないですか。特別な能力がなかったら子供を養ってはいけない、自分でビジネスをしたほうがまだ安定するのではと思ったからなんです。

日本とアメリカの橋渡しをするビジネスをしたいという夢は昔からありました。ハワイでホームステイしたとき、ホストファミリーが本当の家族のように接してくれたんです。彼らに対する恩返しというわけではありませんが、何か日米間を繋ぐことをしたいなと思ってはいましたね。アーバインで語学学校という発想は、自然に生まれました。自分も暮らしてみても本当に安全で住みやすい土地だということがわかっていたので、日本の学生にも紹介してあげたい、と。アーバインはアメリカ人も住みたがる、どこをとっても絵になるような街なんです。

シングルマザーもイキイキ生活

親戚も家族もないアメリカで、1人でビジネスを立ち上げることにに対して、もちろん不安もなくはなかったですよ。成功するぞ！という大きな野心はなかったので、ま、何とかかなるかな、と思って始めました。仕事ではいいスタッフや友達にめぐまれて、いろいろとヘルプして



「まわりの人に支えられて」という謙虚な姿勢ながらも、経営者としての手腕をアメリカで発揮中

日本、アメリカ2国間で揺れた末の決断

アメリカに住むことになる最初のきっかけは、ハワイ大に語学留学したことです。ハワイで前の主人と出会って、主人の家族の住むカリフォルニアで結婚し、日本で子供を産んで、2年間は日本に住んでいました。ですが、子育てにはカリフォルニアのほうが環境もいいと思って、アメリカに戻りました。

その後、離婚して、シングルマザーとして奮闘したのですが、やはり何かと日本の方が便利で安心かな、とまた日本に戻ったんです。でも、1年間住んでつくづく日本の生活環境よりカリフォルニアのほうがいいと実感して、アメリカに移住する決意を固めました。日本のマンションは狭いし、幼稚園から塾通いもさせなくてはいけない教育システムですよ。大きな芝生の庭のある家で、おおらかな性格の子供に育てたいと思ったんです。やっぱり環境って大切ですよ。

アメリカで起業!

アメリカで起業することにしたのは、以前日



クリスマスカード用に愛する子供たちセラちゃん(左)とブア君(右)と撮影



思い出は子供に残せる財産。レイアウトに凝ったアルバム作りに熱中

かれてここまでこれた、という感じでしょうか。

シングルマザーという、日本だったらネガティブなイメージが先行しますよね。でもここだったら、50%くらいがシングルマザーの家庭なので引け目を感じることもなく積極的に行動することもできます。子連れ同士の再婚も多いし、世間もそれを普通に受け取ってくれる。日本だと、年齢をすごく気にしますよね。アメリカは何事にもオープンな土地柄、年齢相応の恋愛もまったく問題ないんです。去年、うちのグランパも62歳で再婚しました。花嫁も60歳できれいなウェディングドレスを着てステキでした。年齢よりすごく若々しい。

のびのびとした教育環境

子供の教育については、やはり移住してきて正解だと思っています。まず子供にプレッシャーがないんです。放課後お稽古事は、本人の意思を尊重してやりたいことだけやらせています。日本語は忘れてはほしくないので、漢字教室と毎年夏に私の実家に2カ月間帰らせてはいますけどね。

将来どこの国に住むことになっても暮らしていけるように、インターナショナルな視野を持った子供に育ててほしいですね。子供はもうすっかりアメリカの文化に順応しています。今となっては、アメリカの文化に関しては子供に教えられることが多いですよ。

意外に地味なアフターファイブ

月1回自宅パーティーを開いて、シングルに社交の場を提供しています。アメリカ人は家庭を優先するのでアフターファイブはつきあひもなく、家族のいない勤め人はけっこう地味な生活をしているのが現状です。日本人同士の横の繋がりもできるし、楽しいですよ。

インターナショナルなビジネスクラス

2年ほど前に、UCI(カリフォルニア大学アーバイン校)で2カ月間ビジネスのクラスを取りました。今までビジネスのことを勉強したことなどなかったし、自分自身のリフレッシュにもなるかなと思っていて、また学生に戻って勉強したことに新鮮さを感じましたし、サーティフィケート(修了証)をもらったことも嬉しかったです。世界各国から集まってきた、いろいろなタイプの人達に出会えたことも本当によかったですね。



自宅の居間で愛犬ターシャとくつろぐひととき

プロフィール ● 在米トータル8年になるビジネスウーマン。英語学校の経営と、ホームステイを含めた留学総合サービス会社ACI International Inc.とマリッジコンサルタント会社ベストパートナーの代表。ロスアンゼルス郊外、アーバインの一戸建てに住む。2児の母でもある。